

2 学期の成績概況

学年主任より

この結果をどう捉えたらよいだろうか。

平均点・成績優秀者の数とも 1 学期よりも大きく減少している。逆にいわゆる赤点者が増えている。1 学期は、中学校の学習の復習的な内容もあって、中学校からの貯金で成績もまずまずだったが、2 学期になって、高校の学習内容が本格的に始まり、その質と量に対応できてないということか。

| | 1 学期 | 2 学期 |
|----------------------------|------|------|
| 成績優秀者 (現時点で評定平均 4.3 以上) | 61 人 | 23 人 |
| 成績不良者 (評点 29 点以下) | 4 人 | 8 人 |
| 平均点 | 71.4 | 64.8 |

しかし、学習内容の難化だけが原因ではない。2 学期に行った調査によると、家庭学習時間が 4 月に比べて減少している。入学時より学習内容が難しくなっているのに勉強時間が減っているのは、授業の内容を理解できるはずがない。

ゲームから距離をおくこと

さらに、気になることがある。11 月に発行された学校新聞「須川路」の記事によると、1 年生の 1 日の平均ゲーム時間が際立つ。

日常生活が、あんな小さな機械に支配されてませんか。スマホやゲーム(あるいはアプリを作っている会社)に支配されるのではなく、スマホをうまく利用して欲しい。学校で使用している教材と連携しているアプリなどの利用もその一つだ。ゲームから手を引かないと、学力低下だけでなく「ゲーム障害」に陥ります。

さあ、冬休みは、ゲームから距離をおいて生活し、家庭学習時間をしっかり確保しよう。

| | |
|---------------|-----|
| 全くやっていない | 24% |
| 2 時間未満 | 40% |
| 2 時間以上 4 時間未満 | 26% |
| 4 時間以上 | 10% |

「須川路」から引用

【特別企画】〇〇先生からのメッセージ①：井田先生
「将来への貯金をしよう」

20 数年前、自分にも高校時代がありました。
高校時代の冬休みの思い出といえば……



苦しい思い出しかない高校時代のクリスマス、練習に縛られていた冬休み。毎日が逃げ出したくなるような日々。でも今思うと、苦しいときや辛い時、あの頃の歯を食いしばって乗り越えた日々や、不自由さの中でもがいていたことが、自分の支えになっている。別になにか良い成績をおさめたことが支えてくれるわけじゃない。その時の鼻水が、よだれが、自分の支えになっている。

今の苦しいこと、不自由に感じていること、しがらみの中でもがいていること、それらはきっと将来の自分を支えてくれるものになる。たとえ結果が出なくても、そのプロセスが自分を支えてくれる。それが部活動か、勉強か、他の何かか、なんでもいい。苦しいことに立ち向かうことは、将来への貯金。だから「若い頃の苦労は買ってでもせよ!」なんだね。この年になるとよく分かる。

もうすぐ平成が終わって新しい時代が始まる。

1 年生のみんな、たくさん苦しんでたくさん貯金をしましょう!

●生徒指導部より

・夜間の外出に注意

・22 時以降は補導対象。初詣など注意

・SNS のトラブルに注意

(人の悪口は書かない。マナーを守って)